

上越・妙高地域の景観に配慮した防護柵の
整備に関するマスタープラン

平成17年8月

新潟県上越地域振興局

上 越 市

妙 高 市

目 次

1	マスタープランの目的と役割	1
2	現状と課題	1
3	基本方針	1
4	道路景観の配慮方針	2
	(1) 中心市街地を基調とする区間	
	(2) 住宅地を基調とする区間	
	(3) 歴史的な街並みを基調とする区間	
	(4) 田園景観を基調とする区間	
	(5) 樹林地景観を基調とする区間	
5	形状・色彩に関する配慮事項	5
	(1) 防護柵形式（車両用防護柵、歩行者自転車用防護柵）	
	(2) 色彩区分	
	(3) 視線誘導方法	
	(4) その他	

1 マスタープランの目的と役割

ガイドラインの策定主旨を踏まえ、道路景観の向上を目指すことを目的に、本来の安全面での機能を確保した上で、防護柵の設置・更新する際の景観への配慮方針を示すものとする。

2 現状と課題

上越・妙高地域は、県の南西部に位置し、北は日本海に面し、南は妙高山、焼山、火打山の妙高連峰、東南側には信越県境の斑尾山などの関田山脈、東部一帯は頸城丘陵が広がり、北部の米山へと連なっている。妙高連峰に源を発する関川には保倉川、矢代川など大小50以上の河川が合流して関川水系を形成し、流域には高田平野が開けている。これらの恵まれた自然環境を背景に、「上信越高原国立公園」「米山福浦八景県立自然公園」「久比岐県立自然公園」「直峰松之山大池県立自然公園」が点在しており、四季を通じて地域住民のみならず、隣接地域や県外から観光客が多く訪れ、にぎわいを見せている。

本県においては、平成15年度に策定した「新潟県新たな道路整備計画」に基づき、自然環境や景観と調和した道路整備に努めている。

そのような中、本地域では、上越魚沼地域振興快速道路、国道8号、国道18号、国道253号等の整備が関係機関の理解と協力のもと着実な進展を見せているが、近年では、公共事業に対する住民の意識が向上し、景観に対する関心も高まっている。

そのため、道路管理者は防護柵の景観に与える影響を再認識し、道路景観の更なる向上を目指すべき取り組みが求められている。

3 基本方針

防護柵などの設置・更新については、安全面での機能を確保した上で周辺環境との融和を図り、人との親和性^(*1)に配慮することとする。

*1 「親和性」

(広辞苑第5版より)「親和性」とは、親しみ結びつきやすい性質。

本プランでは、「親和性」とは、人に対して身体的心理的に危険や不安感を感じさせず、身体感覚的に受け入れやすい性質と捉える。

4 道路景観の配慮方針

(1) 中心市街地を基調とする区間

市街地の中心部で商業・業務の拠点となる区間。

- ・ 都市的で比較的明るい色調の街並み景観を引き立てるように配慮する。
- ・ 歩行者が間近に眺め、触れることが想定されることから、親和性に配慮した形状とする。(ガイドラインp32参照)
- ・ 防護柵の色彩は周辺景観の中で目立たない塗装色とする。(ガイドラインp35参照)



県道 高田停車場線 上越市本町5

(2) 住宅地を基調とする区間

住宅など主に低層建築が建ち並ぶ区間。

- ・ 住宅地の比較的落ち着いた色調の街並み景観を引き立てるように配慮する。
- ・ 歩行者が間近に眺め、触れることが想定されることから、親和性に配慮した形状とする。(ガイドラインp32参照)
- ・ 防護柵の色彩は周辺景観の中で目立たない塗装色とする。(ガイドラインp35参照)



県道 上越安塚柏崎線 上越市昭和町2

(3) 歴史的な街並みを基調とする区間

雁木の街並みなど城下町の面影を残している区間。

- ・ 雁木などの落ち着いた色調の街並み景観を引き立てるように配慮する。
- ・ 歩行者が間近に眺め、触れることが想定されることから、親和性に配慮した形状とする。(ガイドラインp32参照)。
- ・ 防護柵の色彩は周辺景観の中で目立たない塗装色とする。(ガイドラインp35参照)



市道 東本町通り線 上越市東本町3

(4) 田園景観を基調とする区間

沿道に田園が面的に広がっている区間。

- ・ 道路と周辺の田園空間とを分断しないように、防護柵は出来るだけ設置しない。(ガイドラインp22参照) 設置する場合は、透過性^(*)の高い防護柵とする。(ガイドラインp30参照)
- ・ 防護柵の色彩は周辺景観の中で目立たない塗装色とする。(ガイドラインp35参照)

*2 「透過性」

(広辞苑第5版より) 「透過」とは、すきとおること。

本プランでは、「透過性」とは、施設が奥の景観に対して視線を面的に遮断する度合いが少なく、見通し易い性質と捉える。



市道 浮島中坪線 上越市三和区浮島

(5) 樹林地景観を基調とする区間

自然公園内や森林地帯を通る道路や、遠景に山岳を望める道路。

- ・ 次々と山並みが連続的に変化する景観を印象的に眺められるように配慮する。
- ・ 眺めの良い区間が連続することから、透過性の高い防護柵とする。(カトラインp30参照)
- ・ 防護柵の色彩は周辺景観の中で目立たない塗装色とする。(カトラインp35参照)



県道 妙高高原公園線 妙高市赤倉

これまでに述べた各区間毎の景観配慮方針（景観上の重視事項、形状・配置・色彩方針）をまとめると、以下の表となる。

表-1 「区間毎の景観配慮方針」

区間区分		中心市街地・住宅地・歴史的街並み等 街並みが形成されている区間	田園・樹林地景観等 自然景観が眺望出来る区間
景観上の 重視事項	1.眺望を阻害しない		○
	2.周辺景観との調和 を図る	○	○
形状方針	1.透過性に配慮		○
	2.親和性に配慮	○	設置箇所による
配置方針	1.必要最小限範囲	○	○
	2.眺望を阻害しない 位置の選定		○
色彩方針	1.目立たない塗装色	○	○

5 形状・色彩に関する配慮事項

(1) 防護柵形状（車両用防護柵、歩行者自転車用防護柵）

レリーフの設置や絵を描くなど、付加的装飾はしない。（ガイドラインp28参照）

周辺への眺望を確保する必要がある場合は、塗装面が比較的小さい形式等、透過性のあるものを設置する。（ガイドラインp30参照）

歩行者が触れる機会が多い箇所では親和性に配慮し、突起物を避け、衣類等が引っかかりにくい工夫をする。（ガイドラインp32参照）

(2) 色彩区分

塗装面が比較的小さい防護柵の場合は、ダークブラウン（こげ茶色）を選定することを基本とする。（ガイドラインp35参照）

塗装面が比較的大きな防護柵の場合は、グレーベージュ（薄灰茶色）とダークブラウン（こげ茶色）のいずれかから選定することを基本とする。（ガイドラインp36参照）

中心市街地、歴史的街並みの区間では、周囲で使われている色の特徴をつかみ、共通性や連続性がある街並みが形成するように色彩を選定し、照明施設や標識類等の道路付属物の色彩も同系色とする。（ガイドラインp43参照）

ガイドラインによる色彩に関する考え方や、これまで述べた考え方から本プランにおける防護柵の色彩についてまとめると、次の表のとおりとなる。

表-2 「区間別防護柵の色彩区分」

色彩	防護柵形式	中心市街地	住宅地	歴史的街並み	田園・樹林地景観等 自然景観が眺望出来る区間
ダークブラウン 10Y R2.0/1.0程度	塗装面小	○	◎	○	◎
	塗装面大	○	○	○	○
グレーベージュ 10Y R6.0/1.0程度	塗装面小	○		○	
	塗装面大	○	○	○	○
ダークグレイ 10Y R3.0/0.2程度	塗装面小	○		○	
	塗装面大	○		○	
オフホワイト 10Y R8.5/0.5程度	塗装面小				
	塗装面大				

色彩の記号はマンセル値^(*)を示す。◎：基本 ○：検討を要する場合

*3 「マンセル値」

- マンセル値は、色を「色相 明度/彩度」表記したもので、色を表現する値として一般に使われる。（例えば、マンセル値10Y R8.5/0.5とは、色相が10Y R、明度が8.5、彩度が0.5であることを示す。）
- 色相とは色味を示し、R（赤）Y R（黄赤）Y（黄）GY（黄緑）G（緑）BG（青緑）B（青）PB（青紫）P（紫）RP（赤紫）の10色相の頭文字と、その変化を示す0から10までの数字の組み合わせで表示する。
- 明度は色の明るさを0から10の値で示したもので、数値が10に近いほど、明るい色であることを示す。
- 彩度は、色の鮮やかさを示し、無彩色を彩度0として、数値が増えるほど鮮やかな色であることを示す。

(3) 視線誘導方法

防護柵を地域特性に応じた形状、色彩にすることにより、防護柵自体に持たせていた視線誘導効果が低下し交通の安全性が低下する場合は、視線誘導標や反射シートの取付、区画線の強化など複合的な対策をすることにより視線誘導効果を高めることとする。(ガイドラインp45参照)

また、急カーブが連続する箇所や濃霧等が発生しやすい箇所など、運転者に対して道路状況を把握させることが特に必要な箇所については、線形誘導標（矢羽根）の設置も検討する。

なお、各対策の実施にあたっては、以下の点に留意することとする。

a) 防護柵支柱への反射シート取付

路肩部は堆砂や雑草の繁茂があるため、出来る限り支柱の上部に取り付ける。

反射シートは、反射率の高いものを採用する。

b) 高屈折率ガラスビーズなどを使用した高視認性路面標示

c) 線形誘導標（矢羽根）の設置にあたっては、道路状況を運転者に対してははっきりとわかりやすく示し、かつ景観に配慮するために、多種類のものを乱雑に設置しないよう、同一種類のものを整然と配置することとする。

(4) その他

防護柵を新設、更新する際には、原則として本マスタープランに基づくものとするが、以下の場合には地域特性を考慮し、防護柵の連続性も充分配慮した上で異なる防護柵を選定してもよい。なお、選定にあたっては、「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン（平成16年3月）」の趣旨を充分踏まえることとする。

a) 自治体の景観条例や各種計画により防護柵を選定する場合。

b) 指定公園等、特別な地域内

c) その他、地域の景観とマスタープランによる防護柵が調和しない場合。

新潟県上越土木事務所管内図

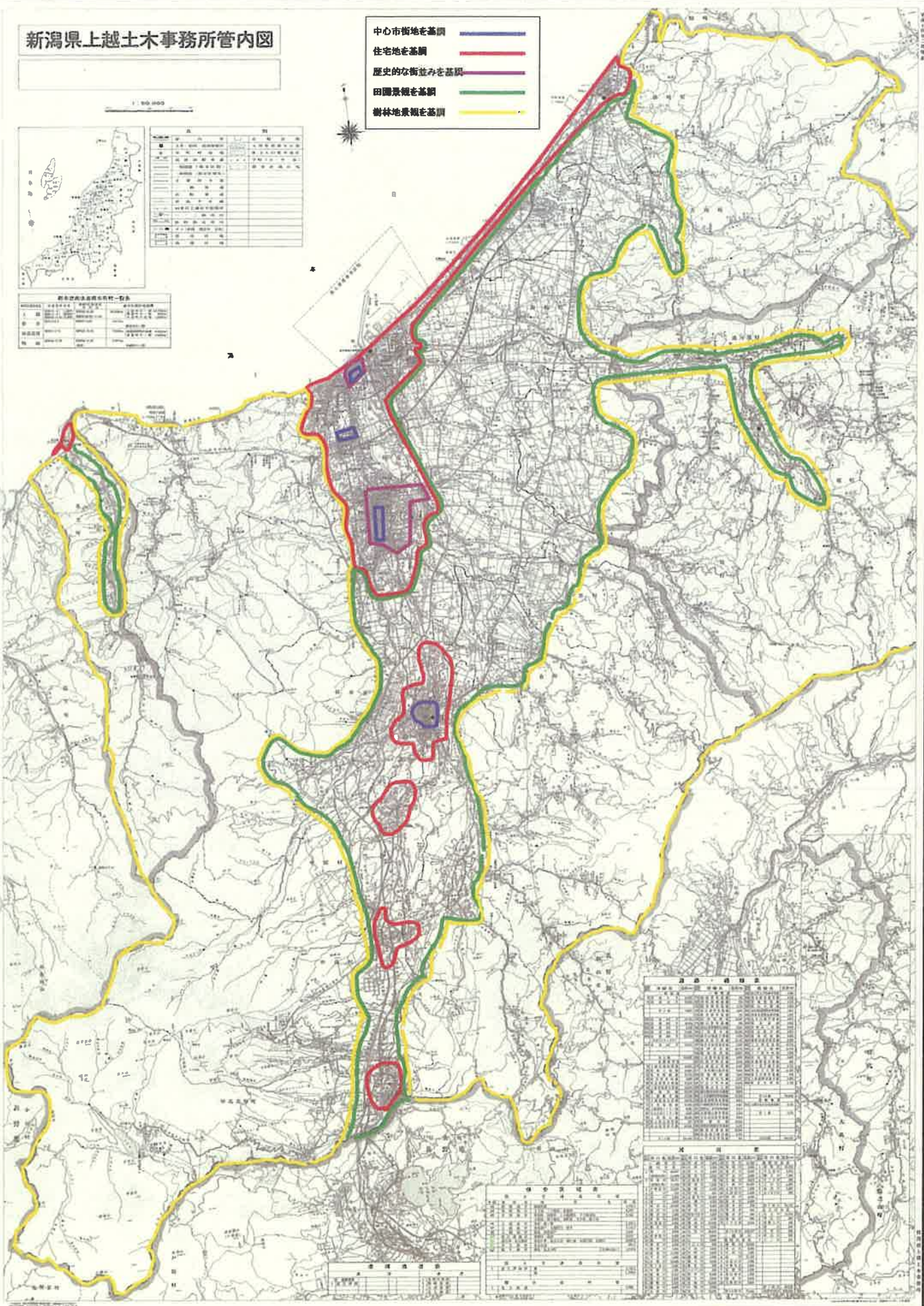
- 中心市街地老基礎 —
- 住宅地老基礎 —
- 歴史のな街並み老基礎 —
- 田園景観老基礎 —
- 樹林地景観老基礎 —

1:100,000



市区町村	名称	種別	備考
上越市	上越市街地	中心市街地老基礎	
	上越市住宅地	住宅地老基礎	
	上越市歴史街並み	歴史のな街並み老基礎	
	上越市田園景観	田園景観老基礎	
	上越市樹林地景観	樹林地景観老基礎	
	上越市	中心市街地老基礎	
	上越市	住宅地老基礎	
	上越市	歴史のな街並み老基礎	
	上越市	田園景観老基礎	
	上越市	樹林地景観老基礎	
	上越市	中心市街地老基礎	
	上越市	住宅地老基礎	
	上越市	歴史のな街並み老基礎	
	上越市	田園景観老基礎	
	上越市	樹林地景観老基礎	

市区町村	名称	種別	備考
上越市	上越市街地	中心市街地老基礎	
上越市	上越市住宅地	住宅地老基礎	
上越市	上越市歴史街並み	歴史のな街並み老基礎	
上越市	上越市田園景観	田園景観老基礎	
上越市	上越市樹林地景観	樹林地景観老基礎	



市区町村	名称	種別	備考
上越市	上越市街地	中心市街地老基礎	
上越市	上越市住宅地	住宅地老基礎	
上越市	上越市歴史街並み	歴史のな街並み老基礎	
上越市	上越市田園景観	田園景観老基礎	
上越市	上越市樹林地景観	樹林地景観老基礎	

市区町村	名称	種別	備考
上越市	上越市街地	中心市街地老基礎	
上越市	上越市住宅地	住宅地老基礎	
上越市	上越市歴史街並み	歴史のな街並み老基礎	
上越市	上越市田園景観	田園景観老基礎	
上越市	上越市樹林地景観	樹林地景観老基礎	

市区町村	名称	種別	備考
上越市	上越市街地	中心市街地老基礎	
上越市	上越市住宅地	住宅地老基礎	
上越市	上越市歴史街並み	歴史のな街並み老基礎	
上越市	上越市田園景観	田園景観老基礎	
上越市	上越市樹林地景観	樹林地景観老基礎	

市区町村	名称	種別	備考
上越市	上越市街地	中心市街地老基礎	
上越市	上越市住宅地	住宅地老基礎	
上越市	上越市歴史街並み	歴史のな街並み老基礎	
上越市	上越市田園景観	田園景観老基礎	
上越市	上越市樹林地景観	樹林地景観老基礎	